

親や先生が知らない! 子供防犯スクール

連れ去り・誘拐編



視聴対象 ○小学校高学年～中学校一生徒指導・特別活動・道徳
○保護者・教員向け研修

収録内容

- ・防犯の新しい考え方-犯罪機会論
- ・危険な景色の見極め方
- ・危険な景色とは?
- ・地域安全マップの作り方



メディアで活躍する有名講師による解説



実際の犯罪・トラブル事例を分析し、回避術を考える



画面の中の生徒や保護者と一緒になって学べる構成



学校の授業や保護者向けの研修会に最適!!

このビデオについて

登下校時の子供達を襲う連れ去りや誘拐・・・
その数は年々、増加傾向にあり、1年間に200件以上、つまり2日に1件という驚くべきペースで起きています。
しかしその一方で「うちの子はしっかりしているから」「定期的に授業やHRで取上げているので、大丈夫」と保護者や教員は甘く考えがち。
「よく分からないけど、なんとなく注意している」では犯罪の魔の手から子供達を守れない時代となっているのです。
本作は、架空の学校「子供防犯スクール」を舞台に、専門家が近年発生した誘拐事例の原因や対策について、分かりやすく解説。
子供達と保護者・教員が一緒になって学ぶことができる防犯教材です。

解説 小宮信夫 犯罪学者
立正大学文学部教授(社会学博士)

予告編配信中!
<http://www.toei.co.jp/edu/> 教育映像

本体価格 66,000円(税抜) [C#0243] 収録時間 24分

子供達を襲う卑劣な犯罪、連れ去り、誘拐。その数は、年々、増加傾向にあり、1年間に200件以上、つまり、2日に1件という驚くべきペースで起きています。

さらに犯行の目的が、身代金の要求から性的ないたずらなどに変わってきており、未解決の事件も増えています。通学路や公園など、ありふれた場所で起きる脅威から子供たちを守るにはどうしたらいいのでしょうか？ 専門家の先生が、優しく・楽しく教えてくれる“子供防犯スクール”と一緒に学んで行きましょう!!

Point 1 テレビやメディアで活躍する有名講師による分かりやすい解説

どんな場所や景色に危険が潜んでいるのか、「見えにくい」「入りやすい」をキーワードに分かりやすく解説します。



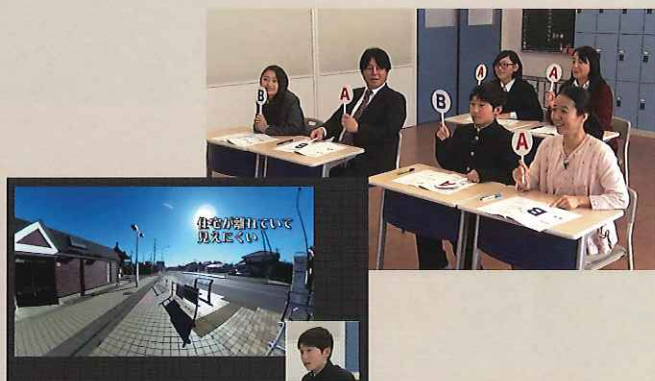
小宮信夫

立正大学文学部教授。社会学博士。日本人として初めて英ケンブリッジ大学大学院犯罪学研究科を修了。
法務省、国連アジア極東犯罪防止研修所を経て現職。「地域安全マップ」の考案者。警察庁委員。



Point 2 画面の中の生徒や保護者と一緒になって学べる構成

イラストや360度カメラを使ったクイズ形式で、視聴者も一緒になって考えることができる授業や研修会に使いやすい構成です。



Point 3 実際の犯罪・トラブル事例を分析し、回避術を考える

近年、実際に発生した誘拐事件を分析し、どこに危険が潜んでいたのか視聴者の「景色解読力」を向上させます。また地域や学校でも楽しみながら学ぶことができる「地域安全マップ」の作り方についても紹介します。



構成：中村結美 演出：田中宣幸 プロデューサー：岡部圭一郎 木下勢治
ロケ地協力：品川エトワール女子高等学校 制作協力：株式会社アマゾンラテルナ

2017年度作品 S.

企画・制作：東映株式会社 教育映像部